

# 福井県民生活協同組合

## サステナビリティレポート2021

~No one will be left behind~



2021年 4月 新入協職員



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

**COOP 県民せいきょう**

福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

お問い合わせ  
コールセンター

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

**0120-016-165**

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時  
※受付時間外は、音声ガイドにて、お問い合わせの受付と、緊急時の連絡先をご案内しています。

●ホームページ

県民せいきょう

検索



県民せいきょう  
Facebook



福井県民生協の  
SDGsの取り組みを  
紹介しています。

www.fukui.coop/sdgs/



**COOP 県民せいきょう**

## ごあいさつ



理事長  
松宮 幹雄

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中でこれまでの日常が一変し新しい生活様式への対応が必要となる中、生協の役割や価値が再評価された一年となりました。供給事業の分野では、企業コラボ型の宅配ステーションの開設、ハーツアプリの導入、ハーツ志比口の改装を進めました。また、福祉・生活支援の事業では、金津きらめきや、社会福祉法人が運営する「きらめきの里 鯖江」の開設、食事宅配の昼食コースや、生前整理・遺品整理サービスの開始などを進めるとともに、池田町との災害時物資協定の締結、越前市との包括連携協定の締結など地域との連携がさらに前進した一年でした。また、活動においても県のフードバンクモデル事業の受託や地域団体との連携によるフードドライブ、非接触型体温計の寄付や休校支援弁当の宅配、オンライン講座の開催など、地域支援の取り組みを進めることができました。女性活躍推進が評価されプラチナえるほしを取得、プラチナくるみんとの両方の認定は全国初となりました。組合員のみなさまのご支援、ご協力に感謝を申し上げる次第です。

2021年度は、2030年ビジョンと第10次中期計画の初年度となります。また、県民生協創業50周年、ハーツ誕生25周年、コープ北陸創立25周年にあたります。これを機にコープ商品の普及に取り組むとともに、SDGsの取り組みを推進します。宅配では、新たにCO・OP要冷物流センターを稼働させます。店舗では認知症にやさしいお店としてスローショッピングに取り組むとともに、食品廃棄ロスの取り組みを強化します。高齢者介護事業では地域包括ケアシステムづくりに貢献します。子育て支援事業では一時預かり対象年齢を0歳に引き下げます。新たに「くらしのサポートセンター」を立ち上げ、新たにヘルスケア事業に取り組み、「健康寿命の延伸」に寄与していきます。また、新型コロナウイルスについては長期的な感染防止対策に引き続き万全を尽くしていきます。

2021年度も「組合員の幸せと地域社会のために」役職員一同まい進する所存です。

## 目次

- ・理念・ビジョン、県民せいきょう概要、2021年度 役員 .....3
- ・県民せいきょうの事業 .....4
- ・県民せいきょうのSDGs .....6
- ・2020年度のできごと .....8
- ・01 産直・地産地消 ～地域と進める商品作り～ .....10
- ・02 ふくいレインボーファーム ～つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりへ貢献～ .....11
- ・03 エシカル消費 ～誰かの笑顔につながるお買物～ .....12
- ・04 食の安全・安心の取り組み ～商品取り扱いの考え方～ .....14
- ・05 組合員の声 ～組合員の声を生かす～ .....15
- ・06 宅配事業 ～おいしさに安心をプラスした商品を毎週お届け～ .....16
- ・07 店舗事業 ～コープ商品や地産商品・産直商品を豊富に品揃え～ .....17
- ・08 介護事業・高齢者福祉 ～あなたらしいいつでも～ .....18
- ・09 地域見守り・助け合い ～みんなが安心してくらせる地域づくり～ .....19
- ・10 生活支援 ～あなたの地域にハーツがやってくる～ .....20
- ・11 組合員活動 ～もっと広がれ組合員の輪～ .....22
- ・12 災害支援 BCP対策 ～つながろう CO・OPアクション～ .....23
- ・13 地球温暖化対策・エネルギー対策 ～温室効果ガス削減計画～ .....24
- ・14 3Rの推進 ～循環型社会の構築に向けて～ .....25
- ・15 働きやすい職場環境づくり ～仕事と家庭を両立しながら、職員がイキイキと働ける職場に～ .....26
- ・16 人材育成 ～職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりへ～ .....28
- ・17 新型コロナ対応 働き方改革 ～新しい生活様式に対応した働き方～ .....29
- ・18 地域へのお役立ち ～地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援～ .....30

## 理念・ビジョン

### 第10次中期計画（2021年～2025年）

#### 理念

組合員の幸せと地域社会のために

#### 2021年度スローガン

2030年ビジョン実現に向けて新たな挑戦を始めよう

#### 使命

食の安全とくらしの安心で組合員へのお役立ち

#### めざす理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、「安全・安心のふくい」づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける

#### 大切にしたい組合員価値

「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

## 市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が55.7%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・池田町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町では、地域の過半数(2世帯に1世帯)の方が加入されています。

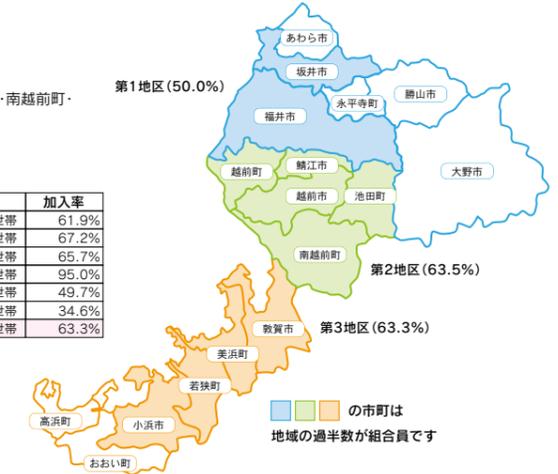
	組合員数	世帯数	加入率
福井県全体	162,665人	291,819世帯	55.7%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	56,428人	105,012世帯	53.7%
あわら市	3,883人	9,916世帯	39.2%
坂井市	16,409人	31,201世帯	52.6%
大野市	3,728人	10,700世帯	34.8%
勝山市	2,545人	7,578世帯	33.6%
永平寺町	3,018人	7,492世帯	40.3%
第1地区計	86,011人	171,899世帯	50.0%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	16,879人	27,274世帯	61.9%
小浜市	7,701人	11,465世帯	67.2%
美浜町	2,508人	3,817世帯	65.7%
若狭町	4,540人	4,780世帯	95.0%
おおい町	1,615人	3,249世帯	49.7%
高浜町	1,498人	4,327世帯	34.6%
第3地区計	34,741人	54,912世帯	63.3%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	18,234人	24,359世帯	74.9%
越前市	16,702人	30,047世帯	55.6%
越前町	4,126人	6,489世帯	63.6%
池田町	426人	839世帯	50.8%
南越前町	1,760人	3,274世帯	53.8%
第2地区計	41,248人	65,008世帯	63.5%

※左記以外に県外在住の組合員が665人いらっしゃいます。  
組合員数(人):2021年3月31日現在  
世帯数(世帯):2021年4月1日現在



## 県民せいきょう概要

### 事業報告

#### 2020年度実績

	実績	前年比
組合員数	162,665人	102.0%
出資金	96億9,546万円	102.2%
総事業高	263億7,741万円	110.1%
事業高	宅配事業	132億4,574万円 113.3%
	店舗事業	107億7,776万円 108.0%
	福祉事業	20億340万円 103.4%
	共済事業	2億3,926万円 105.3%
共済保有件数※	68,853件	100.3%
経常剰余金	5億1,741万円	222.6%

#### 2021年度計画

	計画	前年比
組合員数	164,000人	100.8%
出資金	97億6,500万円	100.7%
総事業高	258億3,900万円	98.0%
事業高	宅配事業	129億4,100万円 97.7%
	店舗事業	103億500万円 95.6%
	福祉事業	22億3,250万円 111.4%
	共済事業	2億2,150万円 109.2%
共済保有件数※	69,700件	101.2%
経常剰余金	3億2,000万円	61.8%

※1万円未満は切り捨てています。  
※共済の保有件数は、たすけあい・あいぶらす・ずっとあい(終身)の合計です。

## 2021年度 役員

	氏名	備考		氏名	備考
常勤	代表理事 理事長	松宮 幹雄	非	理事	五島 典子 第1地区/坂井エリア
		一般社団法人 ほのほのハーツ 代表理事			濱田 昭子 第1地区/坂井エリア
		福井県生活協同組合連合会 会長理事			朝日 亮子 第1地区/奥越エリア
非常勤	代表理事 専務理事	中川 敦士	常勤		山田 久美 第1地区/福井エリア
	常務理事	広辻 光生			野路 直美 第1地区/福井エリア
	常勤理事	中川 政弘			牧野 久美子 第1地区/福井エリア
非常勤	理事	楢原 弘樹	監事		加賀谷 幸恵 第2地区
		野村 伸一			海岸 元子 第2地区
		今村 善孝			笹原 麻子 第3地区/敦賀エリア
		南保 勝			藤原 真理 第3地区/若狭エリア
		小林 正能			中山 哲弥 公認会計士、税理士
		山本 道隆			寺西 道江 第1地区/坂井奥越エリア
		岩佐 裕美			林田 喜久恵 第1地区/福井エリア
		小林 一			岩坂 知美 第2地区
		酒井 智吉			浜本 良美 第3地区

# 県民せい きょうの事業

## コープの宅配

カタログでご注文いただいた商品を週1回、決まった曜日にご自宅やご指定の場所にお届けします。安全・安心なコープ商品を中心とした生協こだわりの商品(食品・衣料・雑貨など)を豊富に品揃えし、福井県内全域での組合員にご利用いただいております。



移動店舗  
ハーツ便

健康づくり

レインボー  
ファーム

高齢者介護施設  
きらめき

食事宅配

お買物  
バス

宅配サービス  
コープの宅配

買物代行  
ハーツの  
おつかいさん

子育て支援施設  
ハーツ  
きっず

生協のお店  
ハーツ

CO-OP共済

## 店舗 ハーツ

県内に11店舗ある「ハーツ」、健康長寿と家族団らんを応援するお店です。こだわりのコープ商品、地場や産直の生鮮品など安全・安心な品揃え。リサイクルステーションや、町内会の集まりなどにご利用いただける集会所など、地域に貢献できるお店をめざしています。



## くらしのサポート

普段の買物や食事作りに困っている方のために県内13台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地での買物支援に、買物代行「ハーツのおつかいさん」では、ハーツの食品やお弁当をご自宅までお届けします。他にもお買物バスや食事宅配など、毎日の食を生協が支えます。



## CO-OP共済

CO-OP共済は「組合員どうし困ったときは助け合いたい」という気持ちから生まれた保障です。組合員1人ひとりの力が集まって大きなたすけあいの輪が広がっています。お手頃な掛金で、医療保障や一生涯安心の終身共済などニーズに合わせてお選びいただけます。



## 高齢者福祉 きらめき

いつまでも自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしたい。そんな願いを応援する、せいきょうの高齢者介護サービス。県内に13カ所ある介護施設で、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護、グループホーム、サービス付高齢者向け住宅など、ご希望や状態に応じたサービスがご利用いただけます。



## 子育て支援 ハーツきっず

ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心」して、笑顔で子育てできる環境づくりに取り組んでいます。通院時などに便利な一時預かり、ママ・パパ同士との交流も楽しい子育てひろば、入園前の準備として2歳児のプレ保育がご利用いただけます。県内6カ所の施設に加え、ハーツきっず児童クラブを福井市内に3カ所開設しています。



## 組織概要

■事業概要 (2021年4月現在)

宅配事業(配送センター:4 福井センター、丹南センター、敦賀センター、若狭センター)  
店舗事業(店舗:11 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつるが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート+ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ))  
生活支援事業(移動販売車:13 第1地区本部5台、第2地区本部4台、第3地区本部4台)  
高齢者介護事業(介護事業所:13 坂井きらめき、金津きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、岡保きらめき、鮎川きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、小浜きらめき)  
子育て支援事業(子育て支援施設:9 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ)

共済事業

■職員数 (2020年度末)

1,625名  
(正規職員229名、キャリア職員131名  
定時職員679名、N職員117名  
アルバイト職員469名)

■グループ会社

エルシーコープ株式会社  
株式会社 コープサービス福井  
ふくいレインボーファーム株式会社  
株式会社 ケア・サービス・アイ  
コンビニハーツ株式会社

■関係団体

日本生活協同組合連合会  
日本コープ共済生活協同組合連合会  
コープ北陸事業連合  
福井県生活協同組合連合会  
一般社団法人ほのぼのハーツ  
社会福祉法人 きらめき福祉会(きらめきの里 鯖江)  
公益社団法人 ふくい・くらしの研究所  
福井虹の会  
福井県産直協議会

# 福井県民生活協同組合は

SDGs (持続可能な開発目標) の達成のための取り組みを推進していきます



県民せいきょうは、「組合員の幸せと地域社会のために」という基本理念のもと、健康長寿で安全・安心な福井づくりに、組合員と職員、地域との協力の力で取り組んできました。誰ひとり取り残さないというSDGsのめざす姿は、生協の理念と重なります。経済成長、社会的包摂、環境保護の3つの主要素を調和させながら、SDGsの17の目標を、県民せいきょうが取り組む事業や活動に重ね、持続可能な社会を福井の地で構築していくことをめざしていきます。



## 福井県民生活協同組合は、SDGsの

福井県民生協では2020年福井県のふくいSDGsパートナーでの宣言を行い、連携協働

### 〈県民せいきょうの宣言内容〉

地域課題に向き合い、事業と活動を通して、将来にわたり誰もが安心してくらしを築くづくりに寄与します。

- 次世代を担う子どもたちの未来を応援します。
- エシカル消費を推進します。
- 地球温暖化防止と循環型社会の実現をめざします。
- 地域で一番働きたいと思える職場をめざします。

## 達成に貢献することを宣言します。

の取り組みで持続可能な地域社会づくりに向けて事業や活動を展開していきます。

(達成に向けて取り組む主なゴール)



# 2020年度のできごと

県民せいきょうのできごと	
4月	<p><b>金津きらめき 事業開始</b> あわら市では初めての生協の事業所となる金津きらめきで、4月より小規模多機能とグループホームの事業を開始しました。これにより、県内全市で高齢者介護事業を展開する体制が整いました。</p> <p><b>池田町と災害協定締結</b> 池田町と災害時における生活物資の供給に関する協定を締結しました。これにより、県内全17市町と関係を築くことができました。</p>  <p>金津きらめき</p>
5月	<p><b>新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援活動</b> 福井県がマスクや体温計、医療物資の寄付を求めていることを受けて、非接触型体温計1,000本を寄付しました。体温計は、県内の学校などに配布されました。また、休校、外出自粛となった県内の児童・生徒を対象に、5月11日～29日の期間、休校支援弁当の宅配サービスを実施し、期間中2,800食の利用がありました。</p> <p><b>春の地区総代会議</b> 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、地区総代会議としては初めて書面開催としました。</p>  <p>休校支援弁当</p>
6月	<p><b>企業型宅配ステーションが誕生</b> 福井トヨタサンドーム南店の店内に企業コラボ型のステーションがオープンしました。</p> <p><b>第42回通常総代会</b> コロナ禍のため、開催時間・規模を縮小し、書面議決書による参加への協力をお願いしました。書面議決書の提出を含む全495人の総代による採決の結果、2020年度事業計画など6議案全てが賛成多数で可決承認されました。</p>  <p>福井トヨタサンドーム南店</p>  <p>第42回通常総代会</p>
7月	<p><b>令和2年7月 豪雨災害支援活動</b> ハーツ店頭や宅配のOCRで緊急募金に取り組み、総額541万円を、福井県共同募金会、全国地域包括ケアシステム連絡会、日本生協連を通じて被災地に寄付しました。また、ハーツはるえで取り組んだランドセルドライブで集まったランドセルのうち90個を熊本の小学校へ寄贈しました。</p>  <p>共同募金会へ募金を贈呈</p>  <p>被災地へ寄贈したランドセル</p>
8月	<p><b>福井県よりフードバンクモデル事業を受託</b> 県内でのフードバンク活動の普及・推進を図り、継続的な事業に展開するため課題検証を行うための「フードバンクモデル事業」を福井県から受託しました。</p> <p><b>食事宅配 昼食コースをスタート</b> 組合員からの要望を受け、8月より食事宅配の昼食コースの配達を開始しました。</p> <p><b>生前・遺品整理サービスをスタート</b> 生前整理・遺品整理のサービス提供をスタートしました。</p>  <p>フードドライブの店頭受付</p>
9月	<p><b>無人ステーション開設</b> 敦賀きらめき敷地内に、無人ステーションを開設しました。</p> <p><b>「プラチナえるぼし」認定取得</b> 女性活躍推進の取り組みが特に優れている企業として、福井県内企業では初めて「プラチナえるぼし」の認定を取得しました。当生協は2017年に積極的に子育て支援に取り組む企業を認定する「プラチナくるみん」も取得しており、両方のプラチナ認定は全国では初めてとなりました。</p>  <p>プラチナえるぼし認定式</p>

県民せいきょうのできごと	
10月	<p><b>きらめきの里 鯖江 事業開始</b> 10月1日より、社会福祉法人きらめき福祉会が運営する「きらめきの里 鯖江」が事業を開始しました。「きらめきの里 鯖江」は、小規模多機能型居宅介護、グループホームに加え、生活協同組合では運営することのできなかった特別養護老人ホームを備えています。今後も社会福祉法人とのネットワークを活かした社会福祉事業サービスの更なる充実をめざします。</p> <p><b>他団体と連携してフードドライブを実施</b> 9月に締結した越前市との地域包括協定に基づき、ハーツたけふでフードドライブと絵本ドライブに取り組みました。また、ハーツはるえでは、子ども食堂と共同でフードドライブに取り組み、集まった食品は週週フードパントリー※1を開催し、必要な人へ無償提供しました。</p> <p>※1 フードパントリー 生活困窮者やひとり親家族など何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のこと。</p>  <p>きらめきの里 鯖江</p>  <p>越前市と連携してフードドライブを実施</p>
11月	<p><b>秋の地区総代会議</b> 県内6会場で地区総代会議を開催しました。2020年度上期の振り返りと下期の方針、2030年ビジョン・第10次中期計画の説明、産直商品の学習を行いました。</p> <p><b>福井県SDGsパートナー登録</b> 国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)の理念に沿った地域社会づくりを県民一体となって進めるため「ふくいSDGsパートナー」に登録し、登録企業として「ふくいSDGs宣言」を行いました。</p>  <p>地区総代会議分設会で意見交換</p>
12月	<p><b>鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞 受賞</b> 職員の働きやすさや働きがいを重視した独自の取り組みを実践していることを評価され鯖江市より「ワーク・ライフ・バランス賞」を受賞しました。</p> <p><b>「福井県しあわせ基金」に寄付</b> 役職員に募金を呼びかけ、10万円を福井県しあわせ基金(福井県・福井新聞社・福井県社会福祉協議会・福井県共同募金会で構成)に贈呈しました。</p>  <p>鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞受賞企業</p>
1月	<p><b>嶺北地方を中心に警報級の大雪</b> 1月8日～10日にかけて、嶺北地方を中心に警報級の大雪に見舞われ、北陸自動車道では最大約1,500台が立ち往生するなど、交通に大きな支障が生じ、物流も混乱しました。宅配事業は一部エリアで配達を断念し、その他のエリアでも大幅な遅れや商品の欠品、店頭でも品薄な状況が続きました。また、福祉事業ではサービスの一部を休止するなど事業にも大きな影響がありました。3年前の豪雪を教訓に組合員案内を行いました。案内方法や連絡手段などに課題が残りました。今回の雪害を教訓にBCP(事業継続計画)の見直しと強化を進め、次の災害に活かしていきます。</p>  <p>配送センターでの雪かき</p>
2月	<p><b>「健康経営優良法人(大規模法人部門)」認定取得</b> 地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、優良な健康経営を実践している法人として、健康経営優良法人の認定を取得しました。</p>
3月	<p><b>ハーツ志比呂 リニューアル</b> 魅力ある店舗をめざし、ハーツ志比呂の売り場の一部をリニューアルしました。また、アレルギー対応食品、ヘルスケア関連商品、ミールキット※2、日用品の品揃えを強化しました。</p> <p>※2 ミールキット レンジと食材がセットになったもの。</p>  <p>リニューアルしたハーツ志比呂</p> <p><b>レジ袋収益金寄付</b> レジ袋収益金のうち、14万円を6団体に寄付しました</p>  <p>坂井市での贈呈式</p>

生協の産直は、食の安全を願う組合員と生産者、生協がそれぞれの立場から「生産・利用・交流」を通じて、「ともに育てあう」活動です。県内外の産直生産者と組合員、生協で産直協議会を運営し、安全・安心な食料確保、地産地消、食料自給率向上、環境安全、資源循環など、食と農をつないで豊かな地域社会をつくることをめざしています。



「ふくいレインボーファーム」は、安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。現在、あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



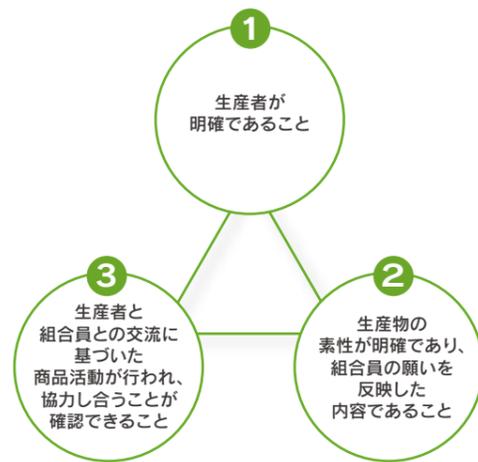
ふくいレインボーファーム Facebook

ふくいレインボーファーム 検索

農場の様子など 随時更新中!

産直・地産地消

県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数  
(福井県:60)  
(県外 :16)



	20年度	19年度	前年比
産直比率(宅配)	29.8%	31.8%	93.7%
産直比率(店舗)※農産	29.0%	28.0%	103.6%
地産比率	15.9%	18.1%	87.8%



▲福井和郷のトマト

農業体験や食育活動

新人職員や、店長研修、大学ゼミを通じた学習のほか、産直協議会など組合員活動での農業体験・見学の受け入れを行っています。また、レインボーファーム応援団を結成し、組合員のみなさんと共に農作業に取り組んでいます。

	20年度	19年度	前年比
レインボーファーム応援団登録人数	115人	111人	103.6%



福井初 <sup>ギャップ</sup> グローバルGAP 個別認証を取得

適切で効率的な農場管理を実践するための手法で以下の4つを柱として管理点が定められています。

- 1 安全な農作物の生産と出荷
- 2 作業者の労働安全と福祉の確保
- 3 信頼できる販売管理
- 4 環境へ配慮した生産活動

グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する農業者に与えられる事業ブランドです。2017年11月に、福井県内の農業法人では初めて、キャベツ、みかん、米の3品目にてグローバルGAPの個別認証を取得しました。



現地審査の様子▶

【登録番号】  
4059883205336

【認定登録日】  
2017年11月20日

【有効期間】  
2020年11月19日～2021年11月16日

【認証作物】  
米・キャベツ・みかん

産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2020年度は、コロナの影響で各地域の交流活動が十分にできなかったため動画を作成し店内で流すことで産地の状況や生産者の想いをお伝えしました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



▲永平寺やさい村で新玉ねぎ収穫体験(第1地区)



▲丹生寺坂農園の麴のお話(第2地区)



▲渡辺農園梅もぎ体験(第3地区)



▲産直協議会総会

食品加工センター

地産地消をさらに推進するために、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う、食品加工センターを、2018年4月より稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セットパバツとCOOK、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。衛生管理も徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。2018年7月には、福井県版HACCPの認証を取得しました。



生協では、「地域」「社会」「環境」「人々」に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」と表現して、積極的に応援しています。6月と10月をエシカル消費月間と位置づけ、誰かの笑顔につながるお買物を推進しています。



6月エシカル消費「環境」月間

6月環境月間には、ハーツでエシカルキャンペーンを展開しました。組合員に身近な商品が環境に配慮されている商品であることと、エシカルの考え方について紹介しました。

FSC® 森の資源を守る



FSCの認証を受けた商品は、森林を守る基準に沿って森林を管理し、その森林の木で作られた商品を森から家庭まで確実に届ける管理をしています。



レインフォレスト・アライアンス認証



地球環境保全のために熱帯雨林を維持することを目的としています。SAN(サステナブル・アグリカルチャー・ネットワーク:持続可能な農業ネットワーク)の定める基準に基づいて認証されます。



MSC認証(海のエコラベル)

海の資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期・生態系などに配慮した漁業で獲れた水産製品です。



いのちの森商品 (KEEP THE GREEN マングローブ植樹活動)

インドネシア産ブラックタイガーの産地で、自然環境保全・持続可能な養殖事業をめざし、マングローブの植樹活動を行う取り組みです。



6月の環境月間にマングローブ植樹を応援する支援を行い、商品1点の購入につき1円を寄付しました。



エシカル消費月間(環境月間)実績 単位(千円)

	宅配			店舗			全体		
	20年実績	19年実績	前年比	20年実績	19年実績	前年比	20年実績	19年実績	前年比
MSC商品	835	1,911	43.7%	1,506	978	154.0%	2,341	2,889	81.0%
FSC商品	10,816	8,134	133.0%	3,502	2,465	142.1%	14,318	10,599	135.1%
レインフォレスト・アライアンス認証	995	988	100.7%	1,155	476	242.6%	2,150	1,464	146.9%
その他環境配慮商品	13,329	10,725	124.3%	4,725	679	695.9%	18,054	11,404	158.3%
対象商品合計供給高	25,975	21,758	119.4%	10,888	4,598	236.8%	36,863	26,356	139.9%

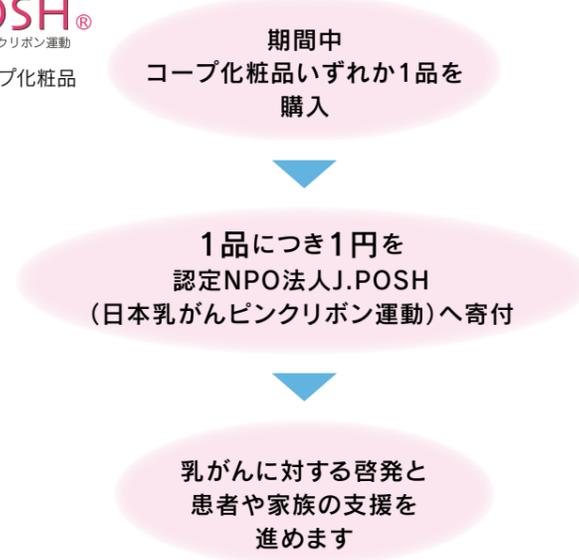
10月エシカル消費「社会貢献」月間

ピンクリボン運動



協賛: コープ化粧品

世界共通のピンクリボン月間である10月に合わせ、コープ化粧品で寄付を行いました。認定NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)は全ての人に乳がん検査の必要性を啓発する団体です。コープ化粧品1品につき1円を日本乳がんピンクリボン運動として寄付し、J.POSHへの協賛を行いました。



全体の募金実績 1,572,804円

CO-OP×レッドカップキャンペーン WFP

対象の商品1品につき1円が、国連WFPを通じて飢餓に苦しむ子どもたちに学校給食を届けるために使われます。

2017年度からカンボジア王国、2020年度からはミャンマーに支援を行っています。児童の栄養改善、就学率、出席率の向上及びミャンマー連邦共和国による自立した学校給食運営のための人材育成を目標とします。



2020年度(2020年10月1日~11月10日) 全国の生協の募金総額 5,047,714円



2019年11月1日~2020年10月31日 全国キャンペーンで集まった募金総額 11,181,240円

エシカル普及キャンペーンを実施しました

ふくい・くらしの研究所の取り組みとして県から委託を受け、エシカル普及キャンペーンに取り組みました。エシカルのマークを集めて応募するとマイボトルが当たるというキャンペーンで980人(2020年度)の応募がありました。



商品取り扱いの基本的な考え方は、組合員に対し「良品質の商品を提供すること」です。生協のPB（プライベートブランド）商品である「コープ商品」「産直商品」だけでなく、NB（ナショナルブランド）商品や市場手配の農産物についても仕様書や産地などを確認し、食品添加物使用基準にあった商品のみを取り扱っています。



〈コープ商品の意義・考え方〉

1. 安全であること
2. 安心できる品質であること
3. 適正価格であること
4. 生鮮商品は新鮮であること
5. 暮らしの見直しや暮らしの助け合い、地域づくりに寄与する商品であること

■ コープ商品

CO-OP 日生協開発商品

全国の生協が加盟する日本生活協同組合連合会で開発しているコープ商品。

Hearts COOP 県民せいきょうオリジナル商品

県民せいきょうが開発しているハーツオリジナル商品。

CCOP コープ北陸開発商品

北陸3県の生協が加盟するコープ北陸事業連合が開発しているコープ商品。

Coops コープこうべ開発商品(コープス)

コープこうべが開発しているコープ商品。

■ 安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

■ 2020年度検査数

	検査数	主な検査商品
微生物検査	年間 7,684品	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査等	年間 122品	・福井県産直協議会生産者の農作物など

項目	20年度実績	19年度実績	前年比
商品検査数	7,806件	8,767件	89.0%
工場点検数	84件	179件	46.9%

■ HACCP 「福井県版HACCP(ハサップ)」の取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準どおり製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、きらめきにおいて「福井県版HACCP」認証を取得し、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



福井県版HACCP認証数	
ハーツ	10店舗
ハーツ生鮮加工センター	1施設
きらめき(厨房施設)	8施設



組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声は、コールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2020年度は156,061件の声が集まりました。



	20年度実績	19年度実績	前年比
コールセンター	139,957件	115,247件	121.4%
ひとことメモ	8,407件	6,610件	127.2%
ハーツ私のこえ	983件	562件	174.9%
ハーツアプリ	339件	-	-
共済アンケート	941件	953件	98.7%
介護利用者の声	1,508件	1,376件	109.6%
子育て利用者の声	1,194件	1,109件	107.7%
地区・事業委員会の声	1,075件	940件	114.4%
総代通信おたより	215件	369件	58.3%
機関紙おたより	123件	194件	63.4%
その他	1,319件	1,554件	84.9%
<b>合計</b>	<b>156,061件</b>	<b>128,914件</b>	<b>121.1%</b>

	20年度実績	19年度実績	前年比
商品品質お申し出	4,088件	3,523件	116.0%
接客他お申し出	6,176件	4,888件	126.4%
良い声	9,840件	7,684件	128.1%
企画・品揃え要望	1,315件	1,191件	110.4%
意見要望	2,819件	2,463件	114.5%
問い合わせ	94,741件	76,099件	124.5%
地域の声	243件	505件	48.1%
その他	36,839件	32,561件	113.1%
<b>合計</b>	<b>156,061件</b>	<b>128,914件</b>	<b>121.1%</b>

■ 総代会、地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、総代会と年2回の地区総代会議を開催し、方針や、日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回総代アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。2020年度春はコロナの影響で地区総代会議は書面による開催となりました。



項目	20年度実績	19年度実績	前年比
商品品質お申し出発生率(宅配全体)	86ppm	78ppm	110.2%
商品品質お申し出発生率(宅配農産)	431ppm	375ppm	114.9%
商品品質お申し出発生率(店舗全体)	16ppm	21ppm	76.2%
商品品質お申し出発生率(店舗農産)	71ppm	94ppm	75.5%
お申し出満足度調査(初期対応)(5点満点)	4.0点	4.0点	100.0%

※ppm…100万分の1

組合員の声

- ・ 宅配…コロナ禍での配送の感謝や期待、ネット注文などへの声
- ・ 店舗…出店やリニューアルへの期待、ハーツアプリで便利になったという声、総菜の品ぞろえ強化の要望
- ・ コロナ禍で、宅配利用、感染対策、休校弁当への評価や期待の声
- ・ 社会貢献…フードバンク・ドライブ・子ども食堂支援への評価の声
- ・ 小水力発電事業への期待、SDGs取り組みへの評価の声
- ・ 組合員活動…コロナ禍でのオンライン講座やキッチンカーに対する声
- ・ 食の安全…国産の取り扱い要望や原産国・原産地表示への期待の声
- ・ 暮らしのサポート…食と健康でのヘルスケア事業への期待の声

## ■ コープの宅配

食料品や雑貨品、各種サービスや暮らしに役立つ情報を、毎週の配送を通じて担当者がお届けしています。

2020年度はコロナ禍における新しい生活様式の中で、宅配の価値が改めて評価された一年でした。

● 宅配事業高 13,246(百万円)

● 家計シェア 7.8%



## ■ 宅配ステーションの拡充

ハーツや各施設で受け取りができるコープの宅配ステーションの利用形態の拡充を行いました。

丹南エリアでは、福井トヨタサードーム南店内に初めての企業コラボ型の宅配ステーションを開設しました。また、敦賀きらめきに併設する形で、完全無人型の宅配ステーションを設置しました。組合員は専用のカードを持って出入りし、困った時は専用電話でやり取りを行います。さらに、ハーツ羽水の宅配ステーションでは、雨の日でも濡れることなく商品の受け取りができるドライブスルー型のステーションを開設しました。ご利用される組合員の利便性向上をめざして、様々なスタイルの取り組みにチャレンジします。



▲宅配ステーション福井トヨタサードーム南店



▲敦賀きらめき無人ステーション



▲ハーツ羽水ドライブスルー型宅配ステーション

## ■ 物流改革

現施設の老朽化と将来的な物量の増加を見越して、福井市東部にCO・OP要物流センターを建設することを決定し、2022年春の稼働に向けて準備に着手しました。



▲物流センターパース図

## ■ eフレンドズの拡大

インターネット注文であるeフレンドズの拡大を行いました。

	20年度	19年度	前年比
eフレンドズ週平均利用者	6,631人	4,603人	144.1%



## Hearts(ハーツ)

Hearts(ハーツ)には、Health(健康)、Ecology&earth(環境と地球)、Amenity(快適)、Relief(安心)、Trust(信頼)、Symbiosis(共生)の意味が込められた生協のお店です。コロナ禍でも感染対策を行いながら、組合員に安心してお買い物いただけるお店を提供してきました。

● 店舗事業高 10,778(百万円)

● 家計シェア 8.1%



## ■ 5つの基本業務

ハーツでは、来店されたすべての方に満足いただけるように5つの重要な基本業務を意識して取り組みを行っています。

- ・ 清潔な売場
- ・ 明るく元気な挨拶
- ・ 品切れのない売場
- ・ 鮮度と味の追求
- ・ 毎日の献立紹介



## ■ ハーツ志比口リニューアル

2021年3月にハーツ志比口をリニューアルしました。組合員からの要望の高かったアレルギー対応商品やヘルスケア関連商品を充実しました。アレルギー対応商品は、ハーツアプリでのお取り寄せも可能となり、リニューアルを行った志比口だけでなく、ハーツ全店で利用が可能になりました。また、ミールキット(食材)セットの需要が高まっていることから、売り場を拡大し品揃えを強化しました。



## ■ ハーツの惣菜がスマイルケア食に認定

ふくいレインポーファームで製造したハーツの惣菜「福井県産小松菜を使った煮浸し」「福井県産大豆の煮豆」「福井県産大豆を使った卵の花」が、農林水産省の「スマイルケア食」に認定されました。高齢の方だけでなくお子さまや小食の方にも食事の一品に加えていただくことで、効率よく栄養を摂取することができます。



## ■ ハーツアプリ導入

組合員証やクーポン券が一体となったハーツアプリを2020年12月に導入しました。デジタルチラシや予約注文の申し込み、お得なクーポンの配信など便利でお得なハーツアプリ。2021年3月までに3万人の方にご登録いただきました。



「あなたらしさいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるように、介護保険サービスやさまざまな啓発活動・まちづくり活動を行っています。



■ 介護事業きらめき各サービス

サービス内容	施設数	サービス内容	施設数
居宅介護支援	7拠点	特定施設入居者生活介護(ケア付き有料老人ホーム)	2拠点
デイサービス	6拠点	サービス付き高齢者向け住宅(有料老人ホーム)	3拠点
認知症対応型デイサービス	6拠点	福祉用具(レンタル・販売)・補聴器	13拠点
ホームヘルプサービス	7拠点	地域包括支援センター(越前市)	1拠点
小規模多機能型居宅介護	10拠点	介護タクシー	2拠点
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1拠点	障がい福祉サービス(居宅介護・重度訪問介護)	2拠点
認知症対応型グループホーム	4拠点		

2020年4月、金津きらめきで小規模多機能型居宅介護とグループホームの事業を新たに開始しました。

■ 生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしくらしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご本人さまの気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートさせていただいています。

生協10の基本ケアとは

- ①換気をする  
病気や心身機能低下にならない環境づくりをサポート
- ②床に足をつけて座る  
足を使った起居動作を習慣として身体づくりをサポート
- ③トイレに座る  
トイレで排泄を継続するのは尊厳の基本として排泄サポート
- ④あたたかい食事をする  
調理や盛り付けを行い親しい方と楽しい食事のサポート
- ⑤家庭浴に入る  
生活リハビリの効果から家庭浴の湯船につかる習慣をサポート
- ⑥座って会話をする  
座って時間を共に過ごし、ご本人のペースの安心感をサポート
- ⑦町内にお出かけをする  
地域に出かけ社会性や精神的な豊かさを保つことをサポート
- ⑧夢中になれることをする  
好きなことに夢中になれる機会や居場所づくりをサポート
- ⑨ケア会議をする  
社会性ある豊かなくらしを、ご本人やご家族と話し合うサポート
- ⑩ターミナルケアをする  
人生の最終段階までご本人らしく過ごすことをサポート

■ きらめき福祉会

鯖江市より社会福祉法人設立許可を受けて、2019年9月に「きらめき福祉会」を設立。2020年秋に特別養護老人ホームを備えた「きらめきの里 鯖江」を新設しました。



■ 丹南きらめき あったかホーム (BLG丹南)

認知症対応型デイサービスの名称を「あったかホームBLG丹南」に変更し、介護を「する側」「される側」の関係をなくし社会参加や「ハタラク」活動を通じて本人のやりたいことを一緒に実現する社会参加型認知症デイサービスの提供をめざしています。



自治体との包括連携協定に取り組んでいます。地域の活性化や市民サービスの向上を図ることを目的に、2020年度末までに南越前町、鯖江市、越前市と包括連携協定を締結しました。



■ 地域見守り協定

宅配など業務を通じて地域の高齢者や障がい者、子どもなどの見守り活動に取り組んでいます。福井県内全市町と協定を締結しました。

■ 子育て支援

子育て支援 ハーツきつず



ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心」して子育てできる環境づくりに取り組み、子育てひろば、一時預かり、2歳児を対象としたプレ保育、放課後児童健全育成事業(児童クラブ)を行っています。また、最近では乳幼児対象の「なかまほいく」や0歳児対象の「BPプログラム」に取り組む支援の幅を広げています。

- ハーツきつず 6施設
- ハーツきつず 児童クラブ 3施設



コープの宅配 すくすく便

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や妊娠中の組合員、すまいるFカードをお持ちの組合員は通常165円(税込)の個配手数料が55円(税込)になります。

●登録人数 10,359人

ハーツ子育てママ応援企画

小学校就学前のお子さまがいらっしゃる組合員や、妊娠中の組合員は毎週水曜日ポイント5倍になります。(アプリ登録限定)

●ハーツ子育てママ登録人数 8,064人

■ はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、ふるさと福井をイメージしたプレゼントをお届けする「FUKUI HAPPY BABIES ～はじめてばこ～」の取り組みを2019年1月から行っています。

福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、福井県のブランド米「いちほまれ」、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしています。

●2020年1月～2020年12月までの  
お届け数 2,527件

■ CO・OP共済

「たすけあい」「あいぷらす」「ずっとあい」

相互の助け合い、くらしの中の危険による損失を保障することを中心に、くらしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄り、落ち着いて相談できるカウンターとなっています。

■ 共済実績

項目	20年度実績	19年度実績	前年比
共済保有件数	68,853件	68,634件	100.3%
共済加入率	21.7%	22.1%	98.2%

手術・入院  
ケガ通院

我が家も  
サポート

一生  
保障



普段の買物や食事作りに困っている方のために、移動店舗「ハーツ便」、食事宅配、買物代行「ハーツのおつかいさん」で食品やお弁当をお届けします。



移動店舗「ハーツ便」

中山間地を中心に、買物に不自由をきたしている方の支援として定期巡回しています(刺身・お肉・惣菜・食品など約700品目積載)。高齢者の見守り、コミュニティの場づくりとしての役割も果たしています。移動店舗は全体で13台となり、県内各地のハーツを拠点に商品をお届けしています。



※2021年度より導入の新型車

	中型車	小型車	合計
ハーツ便2020年度末導入実績	10台	3台	13台



	20年度	19年度	前年比
ハーツ便停留所数	739箇所	748箇所	98.7%

買物代行「ハーツのおつかいさん」

“買物に行く時間や手段がない”との声にお応えする買物代行「ハーツのおつかいさん」。電話でご注文いただいた商品をハーツからお届けしています。

	20年度	19年度	前年比
おつかいさんのべ利用人数	7,634人	6,303人	121.1%



◀ご自宅までお届け

お買物バス

高齢の方や車での来店が困難な方などに、ワゴン車を運行

買物に行きたいけど手段がない方をご自宅から最寄りのハーツまで、無料で送迎する「お買物バス」。ハーツ各店では、週1回(月～金)ご自宅からハーツまで決まった時間に無料で送迎しています。全ての店舗でお買物バスを運行しています。

	20年度	19年度	前年比
お買物バス台数	12台	12台	100.0%
お買物バス利用人数	34,899人	36,875人	94.6%



食事宅配(昼食・夕食コース)、介護食・医療食

家庭的なバランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。かむ力・飲み込む力が弱い方や食事制限が必要な方には介護食・医療食でお応えしています。2020年8月より昼食コースの配達をスタートしました。

	20年度	19年度	前年比
食事宅配弁当食数(週平均)	6,612食	5,860食	112.8%
介護食・医療食食数(週平均)	2,490食	2,595食	96.0%



生協葬祭 みれい

真心・協心・安心

生協葬祭「みれい」は、ご利用される方にご満足いただけるよう、安心感の高いお世話をさせていただきます。2020年度より生前遺品整理サービスをスタートしました。

	20年度	19年度	前年比
みれいの会会員数	2,781人	2,751人	101.1%
葬儀年間施行件数	77件	88件	87.5%
葬祭事業シェア率	0.86%	0.93%	92.5%



▲説明会の様子



ほのぼのハーツ(障がい者雇用)

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために

障がい者福祉サービス事業所(就労継続支援)として2012年7月に事業をスタートしました。

主に県民せいきょうの事業所(CO・OP宅配センター・ハーツ各店・生鮮加工センター・エコセンター)で、一般就労に近い環境の中、現在約120名の障がい者のみなさんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

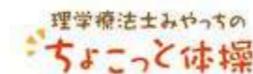
事業所名	ふくい事業所	たんなん事業所	さかい事業所	嶺南事業所	あわら事業所
定員	40人	20人	20人	20人	20人
開始日	2012年5月1日	2014年7月1日	2015年1月1日	2016年1月1日	2018年4月1日

法人理念 「誰もが、安心してくらせる地域社会をめざします」



ヘルスケア事業

BDHQ(食生活バランス診断)やフレイル予防の取り組みを推進し、栄養のバランスや身体活動を通じた健康づくり、社会参加による健康寿命の延伸に寄与していきます。



きらめきくらしのサポート

あなたが…わたしが…  
「ちょっと困った、助けてほしい」という時に  
お互い助け合える、支え合える…  
そんな温かな心のふれあいを大切にしたい。

「きらめきくらしのサポート」は、くらしの中で困ったことがあれば、お互いに助け合って、安心できるくらしを守っていこうという発想から生まれた仕組みです。きらめきくらしのサポートでのサービスは専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援する有償の家事援助サービスです。くらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。

	20年度	19年度	前年比
総活動時間	7,815h	11,637h	70.4%
活動回数	5,163回	7,377回	71.2%
のべ利用人数	1,209人	1,615人	74.9%



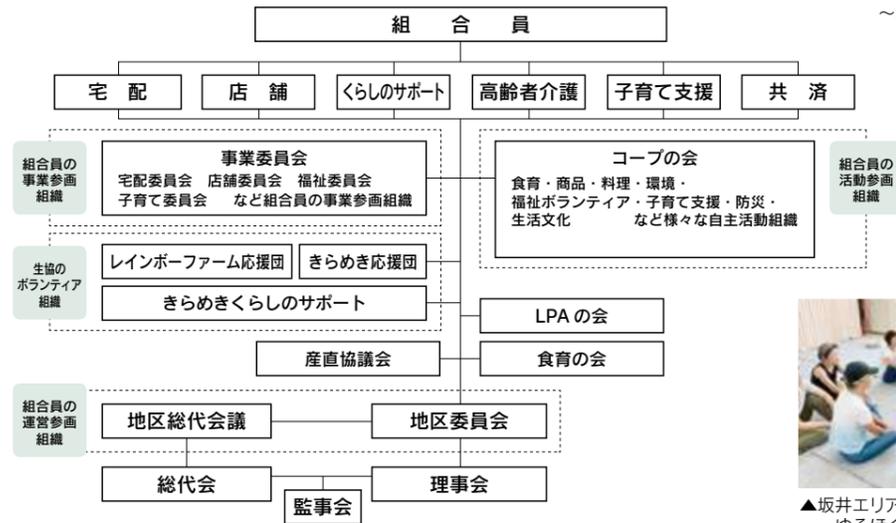
組合員同士が集まって取り組む商品学習や、食・環境・福祉などさまざまなテーマで行う活動を応援しています。地域やテーマに応じて地域のNPOや団体とも連携し、さまざまな活動が取り組まれています。



※写真は2019年度のコロナ禍前のものです。

- ①一人では実現できない願いをみんなの活動で実現する活動(自主自発の活動)
- ②生協ファンを増やし生協の商品やサービスの良さを広げていく活動(事業を支える活動)
- ③地域の課題を地域のみならずと一緒で解決していく活動(地域を支える活動)

組合員活動組織



LPAの会  
くらしの見直し学習会  
～ハーツきつず  
教育費のお話～



第2地区 産直協議会  
～麴のお話と  
クッキング～

市民活動助成金制度

県民せいきょうでは、食や環境・福祉・子育てなど、地域の課題に取り組むNPOや市民団体と連携して、より良い地域社会づくりに取り組んでいます。2006年から15年間で、のべ193団体に助成を行ってきました。2021年度は、社会貢献基金運営委員会による審議、理事会承認を経て、9団体に対して、総額55万円の助成を行いました。

活動エリア	団体名	活動分野	活動エリア	団体名	活動分野
県内全域	一般社団法人 コスモス成年後見サポートセンター 福井県支部	福祉	福井	ハーモニーガーデンクラブ(新保公園ガーデン)	環境
坂井・福井・丹南	民謡 風の会	福祉	福井	幸(さきわい)太鼓	その他の社会貢献活動
坂井・福井	友サークル	福祉	丹南	NPO法人 越前市障がいスポーツクラブ	福祉
坂井	新郷小学校を考える会	その他の社会貢献活動	若狭	子ども食堂「おむすびころりん」	食育
坂井	あわら国際交流友の会	その他の社会貢献活動			

福井県民生協では、多発する水害や地震など自然災害、新型コロナウイルス感染等に対して、リスクマネジメント・マニュアルやBCP(事業継続計画)マニュアルを策定しています。また県内全17市町と災害時物資協力協定を締結し、大震災や豪雨による災害が発生した場合、協定に基づき物資支援に迅速に取り組みます。

福祉避難所設置運営に関する協定締結  
大野きらめきが、2020年3月に大野市と「災害発生時における福祉避難所設置運営に関する協定」を締結。現在5自治体7事業所で締結しています。



東日本大震災支援活動の継続

**被災地を支える**  
コロナ禍で中止とした団体もありましたが、福島の子どものための栄養活動を行う1つの団体に食材を支援しました。

**被災地を忘れない・ボランティア活動を支える**  
東北の生協(コープふくしま)で開催されたふれあいサロン用に、福井のお菓子を贈りました(6月・12月)。

岩手県陸前高田市の桜ライン311(植樹ボランティア活動)に対して、植樹用の桜の苗木(5本)を購入して支援しました。



※現地の植樹の写真は2019年度の様子です。

**買って支える ～被災地の商品利用で復興支援～**  
宅配や店舗ハーツで開発商品「**Hearts** 岩手・田老産真崎わかめ」の普及に取り組みました。



2011年3月に東日本大震災支援活動を始めて10年が経過しました。10年間の支援活動について、右のQRコードからHPでご覧いただけます。



令和2年7月豪雨災害支援

熊本県など九州を中心に発生した豪雨災害の緊急支援募金に取り組みました。寄せられた541万円の募金を福井県共同募金会や日本生協連を通じて被災地に寄付しました。またハーツはえて取り組んだランドセルドライブで集まったランドセル90個を、熊本の小学校に寄贈しました。



防災・減災フェアの開催

2018年から福井県労働者福祉協議会やこくみん共済coop福井県本部とのネットワークで、防災・減災フェアを開催し、防災知識と意識啓発の向上に取り組んでいます。県民せいきょうでは、新たな食料備蓄法(ローリングストック)の啓発活動に取り組みました。



キッチンカー

出前学習会など県内どこでも出張します。



県民せいきょうは、環境の取り組みを重要な社会的責任の一つとして位置づけ、組合員や地域社会のみなさんと共に、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かなくらしと地球環境保全の実現をめざします。



■ 温室効果ガス削減計画

2020年までの温暖化防止自主行動計画の次期計画として、2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目標に設定して取り組みを進めています。施設の省エネは、新規出店、改装時を中心に、またフロン対策に合わせて機器の入替えや導入を行っています。また、省エネだけでなく、再生可能エネルギーの開発研究などを進め、エネルギー削減に向けての取り組みを進めています。

	実績			成り行き	対策効果			計画
	13年度	20年度	30年度		省エネ	創エネ	再エネ活用	
CO <sub>2</sub> 排出量								
店舗CO <sub>2</sub> 排出量	6,697t	6,664t	6,745t					
宅配CO <sub>2</sub> 排出量	1,169t	1,033t	763t					
物流CO <sub>2</sub> 排出量	266t	212t	2,199t					
本部CO <sub>2</sub> 排出量	191t	179t	179t					
福祉CO <sub>2</sub> 排出量	1,168t	1,351t	1,414t					
合計CO <sub>2</sub> 排出量	9,491t	9,439t	11,300t	▲246t	▲3,878t	▲2,431t	4,745t	
(2013年度比)	-	99.5%	119.1%				50.0%	

■ 太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度(FIT:Feed-inTariff)を活用し、自然エネルギー発電の普及を進めています。発電規模は16ヶ所で2,358kWとなりました。



生協グループの発電設備 (16ヶ所 2,358kW 590世帯) ※2021年4月現在

・丸岡物流センター(坂井市) 350kW	・ハーツ学園(福井市) 55kW
・丸岡物流センター(増設) 100kW	・ハーツ志比口(福井市) 55kW
・本部センター(福井市) 30kW	・ハーツさばえ(鯖江市) 55kW
・嶺北センター(福井市) 273kW	・ハーツたけふ(越前市) 55kW
・丹南センター(鯖江市) 55kW	・ハーツつるが(敦賀市) 55kW
・敦賀センター(敦賀市) 55kW	・ハーツわかさ(小浜市) 55kW
・ハーツはるえ(坂井市) 55kW	・第2生鮮加工センター(福井市) 55kW
・ハーツ羽水(福井市) 55kW	・その他(福井市) 1,000kW

■ ハーツの省エネ対策

ハーツ全店でデマンドシステムやBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)を導入し、省エネと省コストの実現を図りました。運用改善では、季節ごとの空調・ショーケースのこまめな設定変更や照明カット、ショーケースや室外機の清掃やナイトカバーの徹底による夜間電力の低減などを進めました。



リーチインショーケース



セラミックタイル  
光の反射により店内を明るく見せることができます。



ベース照明LED  
ハーツ全店でベース照明のLED化を実現しました。



デュアルラインショーケース



BEMS(ハーツはるえ)  
店舗のショーケースを自動管理するエネルギー管理システムBEMS。



■ エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。県民せいきょうグループ「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っていきます。異物などは職員の手で取り除きます。

■ 県民せいきょうで回収している資源とリサイクル品

ダンボール	紙製品
新聞紙 新聞折込チラシ	新聞紙など
注文書(コープファミリー等)	注文書
飲料用紙パック	紙製品
個人仕分袋・注文書袋	プラスチック製品
ペットボトル	ペット素材の原料
卵パック	プラスチック製品
発泡トレイ	プラスチック製品
エコキャップ	原料
小型家電	原料
天ぷら油(廃食油)	飼料や石けん

■ 2020年度エコセンター回収実績

	20年度	19年度	前年比
注文書	1,684t	1,671t	100.8%
ダンボール	734t	665t	110.2%
新聞紙	112t	130t	86.2%
プラスチック類	89t	91t	97.6%
合計	2,619t	2,557t	102.4%

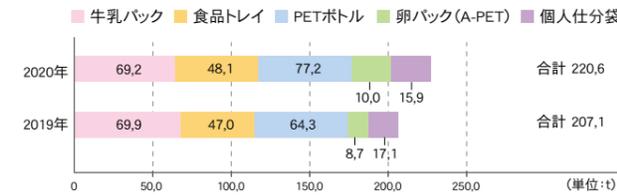
■ 容器包装リサイクル(ハーツ店頭回収・コープの宅配配達時回収)

地域の再生資源の回収拠点として県内小売の中でも最もたくさん容器包装を回収しています。



リサイクルBOX▶

■ 容器包装リサイクル回収量推移



■ リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。

■ 買物袋持参運動(リデュース)

2007年10月にハーツつるがで、福井県内の食品スーパーとして初めてレジ袋の有料化を実施し、2020年4月からはハーツわかさでも有料化を行い、全店に展開しました。2020年度は6団体・行政にレジ袋の収益金の寄付を行いました。

■ 持参率年次推移

	20年度	19年度	前年比
はるえ	93.3%	91.6%	101.9%
羽水	94.2%	93.4%	100.9%
学園	90.7%	89.7%	101.1%
志比口	92.6%	90.6%	102.2%
さばえ	93.2%	92.3%	101.0%
神中	88.9%	88.6%	100.3%
たけふ	93.7%	92.9%	100.9%
つるが	92.2%	91.2%	101.1%
三方五湖	91.7%	90.1%	101.8%
わかさ	88.1%	51.7%	170.4%
全店平均	91.9%	87.2%	105.4%

■ 2020年度寄付先

- 坂井市 ■越前市 ■敦賀市
- エコネットさばえ ■アミアーナ
- 福井市くらしと環境をよくする会

レジ袋の販売によって得た収益は、地域の環境団体への寄付と環境分野の組合員活動に活用しました。



■ 食品ロス削減・食品リサイクルの取り組み

毎日発生する食品廃棄物を再利用するリサイクルループの取り組みを行っています。

■ 堆肥化率

	20年度	19年度	前年比
はるえ	66.0%	70.1%	94.1%
羽水	85.0%	86.3%	98.4%
学園	88.0%	85.9%	102.5%
志比口	96.1%	77.3%	124.2%
さばえ	80.4%	73.5%	109.4%
神中	72.0%	71.1%	101.3%
つるが	75.1%	84.0%	89.5%
全店平均	80.4%	78.3%	102.7%



※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていません。



■ 2020年度リサイクルステーション

	20年度	19年度	前年比
古紙	1,291t	1,293t	99.8%
廃食油	12t	17t	72.8%



# 働きやすい職場環境づくり

仕事と家庭を両立しながら、職員がイキイキと働ける職場に

次世代育成支援対策推進法に則り、次世代育成支援や職員が働きやすい環境づくりに積極的に取り組み、職員がイキイキと働き続けることができる組織づくりをめざしていきます。



## 働きやすい職場環境づくり

- 仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度として、ベビー休暇制度(男性の育児休暇)や、1日2時間短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、子育て支援制度(企業内託児)によって、育児と仕事の両立を支援しています。
- 多様な働き方に対応できる雇用フレーム(勤務エリアや職務範囲の制限)やキャリア形成支援、心と身体の健康維持、増進活動などの支援を行っています。
- 共済会り〜ふでは、職員の交流企画や各種助成制度、団体旅行などを行っています。

## イクボス宣言

職員のワークライフバランス実現に向けた具体的な取り組みを進めていくために、2019年3月に「イクボス宣言」を行いました。

### イクボス宣言内容

- ①職員の働き方改革・生産性改革に取り組み、時間外労働の削減と有給休暇取得を推進
- ②「傾聴」「感謝」「褒める」「祝う」を通してチャレンジし続ける職場風土の構築
- ③挨拶・声かけを率先し、風通しの良い職場環境づくりと多様な働き方を認め合う職場づくり

## ワークライフバランス

仕事と家庭の両立や働きやすさ、仕事のやりがいなどを醸成する政策を計画化し、働きやすい環境整備として、所定外労働時間の削減・有給休暇取得推進などに取り組みました。2020年には鯖江市ワーク・ライフ・バランス賞を受賞しました。

## 「福井働きたい企業5選」に選定

福井県立大学経営学科の学生が、学生の視点で県内の働きたい企業を調査、評価した「福井働きたい企業5選」の「女性活躍賞」として、女性管理職比率が全国平均より高く、育児休業と介護休業に独特制度があることを理由に当生協が選ばれました。

## 健康経営優良法人(大規模法人部門)認定取得

地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに優良な健康経営を実践している法人として健康経営優良法人の認定を取得しました。



## 全国初 Wプラチナ認定 「プラチナえるぼし」認定企業に認定されました

女性活躍推進法に基づき、「採用」「継続就業」「労働時間などの働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の女性の活躍推進に関する取り組み状況が優良である「えるぼし認定」を受けた企業のうち、実施状況が特に優良であるなどの一定の要件を満たしたため『プラチナえるぼし』に認定されました。



▲「プラチナえるぼし認定式」9月9日(水) 福井労働局にて

2017年には次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」の中で、より高い水準の取り組みを行った企業として「プラチナくるみん」に認定され、『プラチナえるぼし』と両方の認定を受けた企業は全国初となり高く評価されました。

今後もすべての職員が仕事と生活を両立しながらイキイキと働き続けることができるような、働きやすい職場環境の整備を進めてまいります。

	20年度	19年度	前年比
女性管理職比率	21.1%	17.2%	122.7%
女性管理・監督職比率	48.6%	48.4%	100.4%
有給取得率(全体)	67.9%	74.6%	91.0%

## 職員意識調査

毎年1回、組織に対する信頼や各施策に対する理解度や意見・要望を把握するために全職員に対し、「職員意識調査」を実施しています。職員意識調査の結果や職員の声を分析し、翌年度の施策につなげています。

## コアパーソン

理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけ、組合員・利用者にとしっかりと向き合うことのできる職員育成と、それを支える土壌づくり(組織風土)を進めました。

●コアパーソン比率 89.6% (前年差+32.7%)

## 有給取得率

有給休暇については、全職員個別に年間7日間の取得計画を年度初めに立て、計画的な取得を行っています。

2020年度の有給取得率は、全体で67.9%(一人あたり平均取得日数は11.0日)、R・L(正規)職員では58.4%(一人あたり平均取得日数10.5日)となっています。2020年度は対象職員全員が法定基準5日を上回る7日以上の有給休暇を取得しました。

■2020年度実績

雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	58.4%	10.5日
P・E職員【非正規職員】	73.9%	11.3日
全体	67.9%	11.0日

## 共済会り〜ふ

共済会「り〜ふ」は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、不測の事態が発生した場合の見舞金の支給、通信教育受講費の補助を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流会援助等を行っています。

## 離職率

職員の離職防止対策として、職場での上司や先輩職員がトレーナーとなり教育を進めるOJTを用い、必要な知識や能力・技術を教育するとともに、計画的にコミュニケーションをはかり仕事に対する不安や悩みの解消に繋がっています。また、各職場に所属長以外の相談窓口として、一般職の中から「労務相談員」を選出し、相談がしやすい環境整備を行っています。

■2020年度実績

雇用区分	離職率
R・L職員【正規職員】	6.25%
P職員【非正規職員】	10.57%
全体	8.99%

■離職率

$$\frac{\text{離職者数} - \text{一定年退職者数}}{\text{年度末人数} + \text{離職者数}} \times 100$$

## 安全運転の取り組み

社会的責任のひとつとして、安全運転をリスクマネジメントに設定し、組合員や地域の模範となるような運転をめざしています。2019年度からは、地域のこども園などからの依頼を受けて、「CO・OP子ども安全運転スクール」を開催。未就学児を対象に、横断歩道の渡り方や死角についてなど、体験型の学びの場を提供しました。



組合員の笑顔やありがとうの言葉に喜びを感じ  
る中で、考え、学び、行動できる人財を育てていく  
ために、学び育む教育制度や、傾聴、感謝、褒める、  
祝うといった組織風土づくりを積極的に進めてい  
ます。



■ 学び育む教育制度

入協後にはOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基  
本に、職員一人ひとりに応じた育成教育を行っています。さらに、職員  
の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育や資格取得、研修受講  
に対する助成金制度や職員の自主参加型講座の開催などを通して自己  
啓発をサポートしています。

■ 創発と共創を促す組織風土

- 褒め認め合う組織づくり  
・マイスター制度・各種表彰制度・アイデア提案制度・仕事品質向上活動
- 役員懇談会の実施
- 職員ニーズの把握  
・自己申告書・職員意識調査

■ 経営品質活動の取り組み、アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

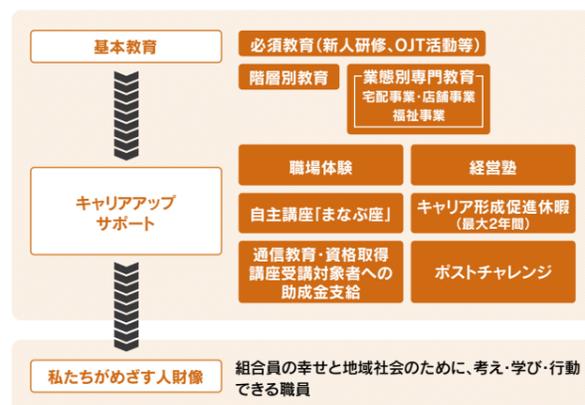
〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の向上につなげる提案制度で、年間約  
3千件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月  
間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好  
事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム  
単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。2020年  
度は134チームが取り組み、5チームが「金賞」を受賞しました。

学び育む教育制度



第5回仕事品質向上活動発表会「金賞」

宅配:丹南センター 角川チーム  
「商品モニター登録者」へ、コープ商品の良さと宅配の便利さを伝え、  
「モニター活動」からの宅配加入率をあげよう  
店舗:ハーツ志比口 レジチーム  
メンバーのレジスピードの均衡化  
高齢者介護:丹南きらめき 小規模チーム  
自己実現の木  
子育て:きつずはるえ あつぷつぷ  
利用者親子を理解し、個々に応じた支援をしよう ~保育士・支援者としてのスキルアップをしよう~  
地区本部/本部:コールセンター 三木チーム  
メールを定型化してオペレーターの負担を軽く!

	20年度	19年度	前年比
業務改善好事例表彰数	15件	15件	100.0%
業務改善参画度	90.2%	49.3%	183.0%
アイデア提案件数	3,306件	3,205件	103.2%
職員意識調査結果(総合満足)	92.4%	44.6%	207.2%
コアパーソン比率	89.6%	56.9%	157.5%
仕事品質向上活動取り組みチーム数	134件	133件	100.8%

新型コロナウイルス感染症の影響で、在宅勤務  
やオンライン会議など、これまでの働き方の見直し  
に迫られるようになりました。新型コロナ対応で  
は、事務所での対策のほか、地域と連携した取り  
組みも進めました。



岡保きらめきの利用者による手作りマスクを地域の子ども園に贈呈

■ インターネットを活用したオンライン会議の促進

3密を避けるために、集合体の会議を見直し、会場を分割してのオンライン会議を実施しました。理事会や地域理事協議会といった機関会議の  
ほか、業革会議、店長会議など、事務局会議もオンライン会議を進めました。移動の時間削減にもつながり、一定の効果を示しました。

■ テレワーク(在宅勤務)の実施

事務所内での感染リスクを減らすために、出勤する職員の数減らし、在宅での勤務を推進しました。在宅での勤務を進めるために、リモート  
ワークが可能なパソコンを設定し、自宅職場と同じ環境で業務ができるようになりました。また、在宅での勤怠管理の仕組みを導入し、職員が安  
心して働ける環境をつくりました。

■ 新型コロナウイルス感染症への対応

未曾有の感染症災害となった新型コロナウイルスへの対応として、マスクの着用、アルコール消毒の実施、手袋の着用、宅  
配では配送時の「置き配(対面せずご自宅の指定場所に荷物を配置)」の対応や、店舗では、レジ待ちでの足跡設置による社  
会的距離確保、飛沫感染防止として全レジとサービスコーナーに面遮断ビニールの設置、福祉ではグループホームでのテ  
レテレビ電話面会など、組合員と職員の安全確保を目的に、様々な取り組みを行いました。また、クライシスマネジメントにもと  
づき、一部事業の停止や縮小、組合員活動の活動中止などの判断を行いました。



子どもたちへ「休校支援弁当」配達

学校休校で自宅にいる子どもたちに栄養バランスの取れた食事を提供することと、親御さんの昼食  
の負担を減らすために、「休校支援弁当」の特別配達を行いました。



福井県に、非接触型体温計1000本を寄付

福井県がマスクや体温計、消毒用エタノールなどの医療物資の寄付を求めていることから、非接触  
型体温計を贈呈しました。贈呈した体温計は、学校などで使われています。



コロナ対応激励金

新型コロナウイルス感染症の中、現場職員が最前線で、県民の様々な要望や声に出来る限りの対応  
を行い、県民の食とくらしを守ってきました。特に現場で日常多くの県民の方と接し、対応を行っている  
職員の奮闘に応えるために、「コロナ対応激励金」を職員に支給しました。

# 地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援

県民せいきょうでは地域、組合員の社会的課題に対して、事業や活動を通じて、自治体や地域団体と連携して、地域に役立ち、感謝される組織をめざします。



項目	20年度	19年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	294件	282件	104.3%

## 生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ食料支援・子ども食堂への食材支援

2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回寄付して、社会福祉協議会や自立支援センターを通じて生活困窮者や児童養護施設に提供しています(フードバンク)。2016年からは、子ども食堂に取り組む団体への食材提供も行っています。2019年にはハーツ10店舗と介護施設きらめき2ヶ所においてフードドライブ(家庭で余っている食品を集めて寄付する)をスタートし、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。

項目	回数	数量	金額
フードバンク	3回	6,979点	1,246,293円
フードドライブ	2回	6,063点	—
子ども食堂(7団体)	71回	4,425点	1,839,402円

※上記の他、ハーツや産直生産者から直接子ども食堂に食材提供している事例もあります。



## 職場体験・視察・講師派遣等

ハーツやきらめき、ハーツきつずなどでの職場体験や視察の受入れ、講師派遣など地域や全国からの要請を受けてお役立ちに取り組んでいます。SDGsに関する小・中・高校からの生徒による学習会も開催しています。



	20年度		19年度	
	回数	人数	回数	人数
学校	8回	80人	66回	951人
生協	12回	216人	28回	231人
行政	19回	577人	21回	477人
団体・企業	8回	164人	43回	1,073人
その他	6回	87人	0回	0人
合計	53回	1,124人	158回	2,732人

※2020年度はコロナ禍で大きく減少しました。

## 福井県SDGsパートナーに登録

2020年10月福井県SDGsパートナーに登録し、地域とともにSDGsの推進を進めていきます。



## 福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協定	市 町	協定の有無																			
		あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町	締結数	福井県	
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野 きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江 きらめき	丹南 きらめき	—	—	—	敦賀 きらめき	—	—	—	—	—	—	5自治体 7事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括協定	協定の有無							○	○		○								2市1町		
レジ袋削減協定	協定の有無		○			○		○	○				○	○					6市	○	

## 地域の自治体関係団体への主な委員一覧

	機 関 名	役 職 名
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員
	福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員
	福井市食育推進会議	委員
	鯖江市食育基本計画策定委員会	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
	有機農産物安定供給体制構築事業協議会(小浜市農林水産課)	委員
福祉介護	福井県社会福祉協議会	評議員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	大野市 結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前町介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
	敦賀市介護認定審査会	委員
	大関まちづくり協議会	いきいきフレンドリー部会委員
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事
越前市介護保険運営協議会	委員	
全国地域包括ケアシステム連絡会	理事	
一般社団法人 福井県介護福祉士会	理事	
環境	環境ふくい推進協議会	企画副委員長、育成支援部会長
	福井市環境推進会議	委員
	福井市くらしと環境をよくする会	企画委員、監事
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	つるが環境みらいネットワーク	委員
ボランティア	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会	運営委員
労働	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	福井県労働者福祉協議会	幹事
	公益財団法人 福井県労働者福祉基金協会	理事、評議員
	一般財団法人 福井県労働者信用基金協会	評議員
男女共同参画	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	委員
	つるが男女共同参画ネットワーク	副会長
	敦賀市男女共同参画策定委員会	委員
経営	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
	福井経済同友会	会員
	福井商工会議所	議員
その他	一般社団法人 福井県経営品質協議会	副会長
	福井市子ども・子育て審議会	委員
	坂井市子ども・子育て連絡協議委員会	委員
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員
	福井県協同組合連絡会	構成員